

講演会型+学校行事参加型(小学校)

学校名等	美濃市立中有知小学校
実施日時	令和5年9月26日(火)
会場	美濃市立中有知小学校
参加人数	地域の高齢者や保護者 65名
学習課題(分野)	孫育て講座 (家族の大切さ) ～今どきの子どもたち、祖父母としてどう接したらいいの～
運営者の願い	子育てをする両親をサポートする祖父母の皆さんに、乳幼児から小学校時代にかけての子どもたちの発達特性や実態を知っていただき、良好な家族関係を築けるようにする。
学習の内容	

<開催までの経緯>

祖父母の方が子育てした時代と、今は大きく変わってきて、二世帯家族や共働きの家庭が増えるなか、祖父母が孫育てに関わる場面も増えている。このため、子育てをする両親をサポートする祖父母に、乳幼児から小学校時代にかけての子どもたちの発達特性や実態を知ってもらおうと、公民館と学校運営協議会が連携して、祖父母参観日に合わせて講演会を開催した。

<当日の流れ>

- (1) 開催日 令和5年9月26日(火)
- (2) 講師 中部学院短期大学部 幼児教育科
倉畑 萌 氏
- (3) 講演名 「孫育て講座」
今どきの子どもたち
～祖父母としてどう接したらいいの～



(4) 講演内容

子どもの発達段階や時代と共に変化した子育て観を紹介。

→ お互いに気遣う心、適度な距離感を大切に。おばあちゃん家は、子どもにとってリラックスできる場所。

「子どもは、ほめられると自分でもできた実感し、自信につながる」

「親よりも一歩引いたところから孫を見守り、たくさんほめてあげて」

→ 自分で決める、自分で考えられる子になることが大切

<参加者の感想>

・孫への接し方に迷いがあったので、講演を聴いてホッとしました。孫となるべく一緒に遊び、成長を見守っていきたいと思いました。(女性)

・私も3人の孫がいるので、大変参考になりました。今、だんだん子どもが少なくなって高齢化が進んでいます。これからは地域で子育てに力を入れていく時代になって、少しでも親の負担が減っていくことを望みたいです。(男性)



公民館と学校運営協議会による主体的な運営

公民館に届いた地域の意見「孫との接し方がわからない」を、学校運営協議会でとりあげ、公民館が中心になって学校運営協議会と連携して「孫育て講演会」を主体的に計画・開催している。



地域の幅広い方々に聴いていただける工夫

学校に限定せず、地域にもチラシを配布し、誰でも聴きたい人が参加できる講演会としている。また、事前申し込みがなくても参加可能にして、幅広い方々に聴いていただけるように工夫している。



新しい取組に果敢に挑戦

祖父母が学びあう講演会は、今まで開催されたことがなかったが、地域の強い願いがあったことや、公民館が学校運営協議会と連携をとって積極的に動いたこともあって、新しい取組に果敢に挑戦している。実際に、聴講した参加者からも大変好評だった。